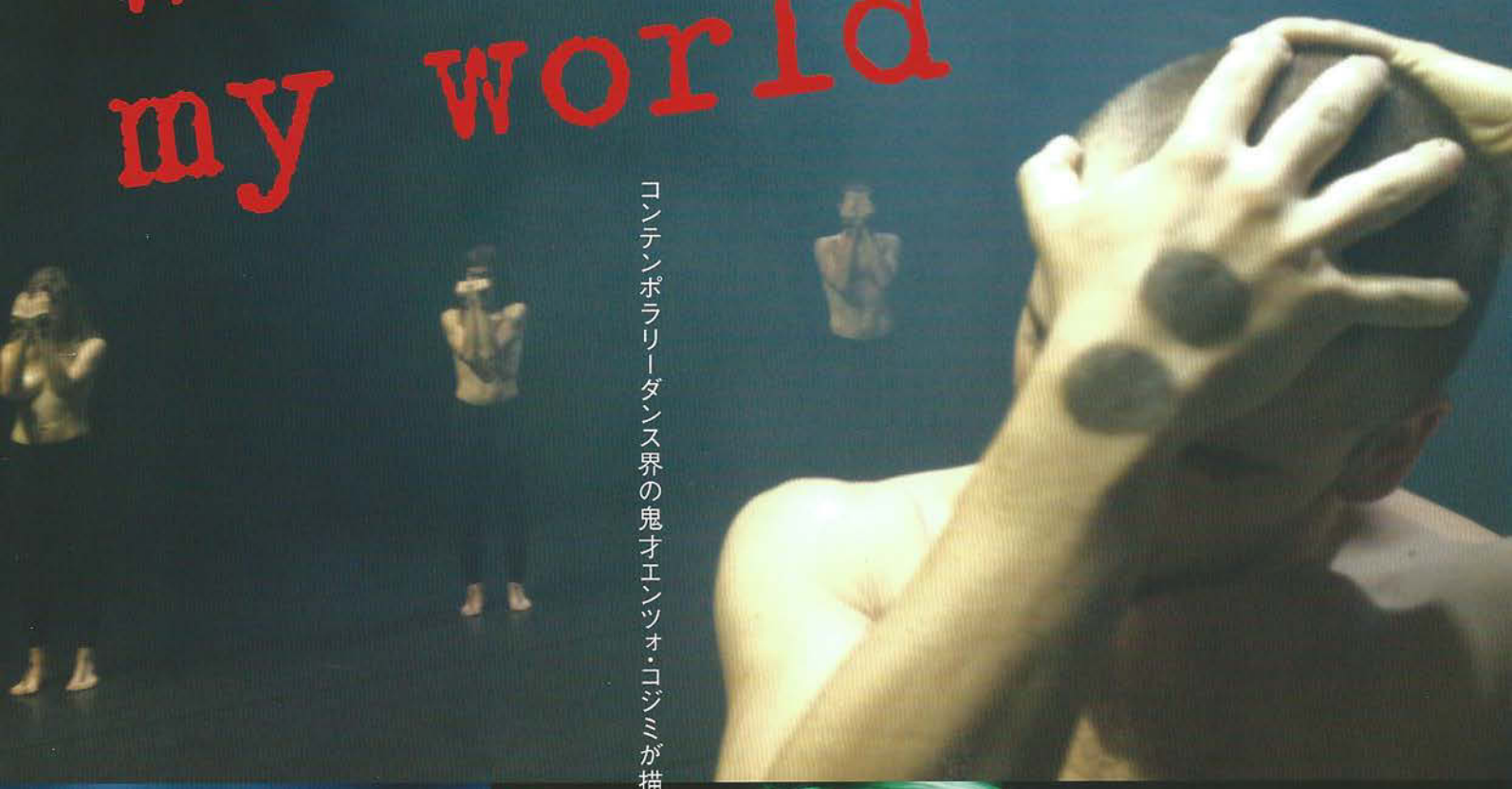


# Compagnia Enzo Cosimi Welcome to my world

コンテンポラリーダンス界の鬼才エンツォ・コジミが描く世界の終わりの闇と光



エンツォ・コジミ・カンパニー

「ウェルカム・トゥ・マイ・ワールド」 〈演出・振付〉エンツォ・コジミ

2014年 **10.24 [金]** 18:30  
(18:00 開場)

入場無料 (要申込)

会場 **イタリア文化会館アニェッリホール** 東京都千代田区九段南2-1-30

お問い合わせ Tel. 03-3264-6011 (内線13,29)  
E-mail: [eventi.iictokyo@esteri.it](mailto:eventi.iictokyo@esteri.it)

主催 イタリア文化会館  
<http://www.iictokyo.esteri.it>





# Compagnia Enzo Cosimi Welcome to my world



闇が広がる舞台。鼻を黒くした半裸の4人のダンサーが現れる。

鳥の声、森の雨音、流れる水音といった自然音や、金属音が連続する人工的な音をバックにシンボリックな動きを繰り返す。世界の終わりという悲劇を前にした、不安、恐れ、懸念。

音はやがて耳をつんざく大音響になり、動きはさらに激しさを増していく…。

圧倒的な身体表現で独自の世界を創り上げてきたコジミが、本作でも視覚、聴覚に強烈なインパクトを与えつつ、世界の終わりを現代の視点で読み解き、表現する。

## profile

### 【エンツォ・コジミ Enzo Cosimi】

1958年ローマ生まれ。ローマでクラシックバレエおよびモダンダンスを学んだ後、モーリス・ベジャールが作ったブリュッセルのダンス学校、ムードラで研鑽を積む。またニューヨークでもマース・カニングハムなどのもとで学ぶ。

1982年に「エンツォ・コジミ・カンパニー」を結成。以来、制作した作品は30以上を数え、「ウェルカム・トゥ・マイ・ワールド」は最新作である。同カンパニーの作品はイタリアの主要な劇場やフェスティバルのみならず、ヨーロッパ諸国、アメリカやペルー、オーストラリア、インドなどでも上演されている。

振付家として、フィレンツェ市立劇場で、A.カゼッラがL.ピランデッロの作品から着想を得て作曲した交響組曲「甕」(La giara)や、G.リグティの音楽を用いた作品「猛禽類の羽ばたきの音」(Il fruscio del rapace)を制作した他、ミラノ・スカラ座とも仕事をしている。

2006年トリノオリンピックの開会式では振付の一部を担当。また映画作品でも振付を行うなど、その活動は多岐に及んでおり、現代イタリアを代表する振付家、演出家のひとりである。

## staff

演出・振付	エンツォ・コジミ
衣装・メイク	エンツォ・コジミ
ラバースマスク	クリスティアン・ドリガッティ
音響	エンツォ・コジミ
音楽	クリス・ワトソン ジョン・ダンカン パンソニック ブライアン・イーノ
照明	ステファノ・ピランデッロ
制作進行	マリア・パオラ・ゼッダ
出演	パオラ・ラッタンツイ アリーチェ・ラッファエリ フランチェスコ・マリルンゴ リカルド・オリヴィエ
制作	エンツォ・コジミ・カンパニー イタリア文化財・文化活動省
協力	パオロ・グラッシ芸術学校
制作年	2012年



◆地下鉄「九段下」駅下車  
(出口2)徒歩約10分。  
※駐車場はありませんので、  
車での来場はご遠慮ください。

### イタリア文化会館 Istituto Italiano di Cultura

東京都千代田区九段南2-1-30  
2-1-30, Kudan Minami, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0074  
<http://www.iictokyo.esteri.it>

### お申し込み方法

件名を「10月24日公演」として、  
お名前、電話番号、参加人数を明記の上、  
メールにて下記アドレスまで  
お申し込みください。

[eventi.iictokyo@esteri.it](mailto:eventi.iictokyo@esteri.it)